

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター鹿児島



○事業所名	COMPASS発達支援センター鹿児島		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日		～ 令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日		～ 令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れておこなっております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	ご利用様が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	利用児童の課題や現状への理解を図るための定期的な支援会議をおこなっております。	利用児童の課題に対して各職種の視点から支援に対する意見を出し合い、共通認識のもと支援に取り組んでおります。	ご家庭や各関係機関との連携内容を支援会議に反映させたうえで、支援を充実してまいります。
3	多機能型事業所の特性を生かし、幅広い年齢層の児童が関わる機会を設けております。	幅広い年齢層の児童で集団活動をおこなうことにより、協調性や「思いやり」の心を育てております。	集団での経験を重ねることで他者との適切な距離感や関わり方などの理解を促してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が少ない状況です。	利用児童の安全面・感染症・個人情報の保護を考慮し、交流の機会を実施できておりません。	地域の施設や公共機関と連携し、地域交流の機会が制限されないよう取り組むとともに、保護者様へ地域交流の必要性を伝えてまいります。
2	保護者同士の交流の機会が少ない状況です。	地域交流を望むご家庭がある一方で、個人情報保護や過剰な干渉を懸念するご家庭も多く、開催が難しい状況となっております。	少人数でのグループイベントなどを検討し、参加しやすい環境を整えてまいります。
3	施設をご見学いただく機会が少ない状況です。	就業されている保護者様が多いため、ご見学いただく機会が少なくなっております。	保護者様へ早めのご案内をおこない、施設をご見学いただく機会を設けてまいります。



公表日：令和8年2月17日